

平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年3月6日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7265 URL <http://www.eiken-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第1四半期の業績 (平成28年11月1日～平成29年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	1,317	9.6	120	26.9	130	34.5	87	40.6
28年10月期第1四半期	1,201	△8.9	95	7.8	97	3.2	62	2.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	17.43	—
28年10月期第1四半期	12.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第1四半期	5,457	4,234	77.6
28年10月期	5,285	4,221	79.9

(参考) 自己資本 29年10月期第1四半期 4,234百万円 28年10月期 4,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年10月期	—	—	—	—	—
29年10月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の業績予想 (平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,671	10.2	198	15.8	207	16.6	138	8.7	27.68
通期	5,450	4.6	431	7.7	451	6.2	301	△1.9	60.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年10月期 1 Q	6,200,000株	28年10月期	6,200,000株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

29年10月期 1 Q	1,182,486株	28年10月期	1,182,486株
-------------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年10月期 1 Q	5,017,514株	28年10月期 1 Q	5,017,514株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中でありま

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策等の実施により、円安効果及び株価が上昇し、企業収益・雇用環境の改善が進み、緩やかながら回復基調がみられました。しかし、米国の新大統領の政策による米国経済の行方及び関係国への影響、新興国の経済の停滞等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、純正メーカーの交換用フィルターの販売攻勢が強いこと、ガソリンスタンドの減少及びセルフ化の影響で販売数量は減少しております。また、新興国で製造された安価な商品が増加し、激しい価格競争にも晒されており、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にありました。

このような環境のなかであって、当社はフィルター部門において国内では、付加価値の高い大型車用フィルター、既存品と差別化した高性能オイルフィルター及びプレス部品の拡販に注力すると共に、新規取引先の開拓にも取り組んでまいりました。輸出では、主要輸出先への営業活動を強化すると共に、新規輸出先の開拓にも取り組みました。さらに、燃焼機器部門では、新規バーナの開発、既存のバーナ部品及び熱交換器の拡販に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億15百万円増加し、13億17百万円（前年同四半期比9.6%増）、売上高が増加したことが要因となり、営業利益は前年同四半期に比べ25百万円増加し、1億20百万円（前年同四半期比26.9%増）、経常利益は前年同四半期に比べ33百万円増加し、1億30百万円（前年同四半期比34.5%増）、四半期純利益は前年同四半期に比べ25百万円増加し、87百万円（前年同四半期比40.6%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は商社向けが増加しましたが、輸出売上はヨーロッパ向けが減少しましたが、東南アジア向けが増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ1億7百万円増加し、12億29百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は前年同四半期に比べ47百万円増加し、1億79百万円（前年同四半期比36.2%増）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、バーナ部品の売上高が増加しました。営業利益に関しては、売上高は増加したものの、利益率の高い製品の売上が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ7百万円増加し、87百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は、前年同四半期に比べ4百万円減少し、8百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

(その他)

車載用加湿器、ティッシュケース及び灰皿等の販売をしております。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ18万円減少し、33万円（前年同四半期比35.1%減）、営業損失は55万円（前年同四半期は営業損失40万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて55百万円減少し、30億49百万円(前事業年度末比1.8%減)となりました。主な要因は、電子記録債権を採用している得意先の売上が減少したことにより電子記録債権が34百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度と比べて2億28百万円増加し、24億8百万円(前事業年度末比10.5%増)となりました。主な要因は、新規工場建設等の設備投資により有形固定資産が2億3百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて1億72百万円増加し、54億57百万円(前事業年度末比3.3%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて1億54百万円増加し、10億32百万円(前事業年度末比17.6%増)となりました。主な要因は、新規工場建設資金の借入を実施したことにより短期借入金が1億50百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて5百万円増加し、1億90百万円(前事業年度末比2.8%増)となりました。主な要因は、繰延税金負債が4百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて1億59百万円増加し、12億23百万円(前事業年度末比15.0%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて12百万円増加し、42億34百万円(前事業年度末比0.3%増)となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の業績予想に関する事項につきましては、平成28年12月9日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,050,417	1,046,445
受取手形及び売掛金	1,124,976	1,134,270
電子記録債権	261,266	226,765
商品及び製品	425,297	411,851
仕掛品	31,838	30,100
原材料及び貯蔵品	152,426	145,612
その他	59,870	55,378
貸倒引当金	△1,402	△1,364
流動資産合計	3,104,692	3,049,061
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	715,988	705,373
その他（純額）	1,004,111	1,218,578
有形固定資産合計	1,720,100	1,923,951
無形固定資産		
	9,557	8,976
投資その他の資産		
その他	451,615	476,750
貸倒引当金	△950	△950
投資その他の資産合計	450,665	475,800
固定資産合計	2,180,322	2,408,729
資産合計	5,285,015	5,457,790

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	236,020	230,360
短期借入金	290,000	440,000
未払法人税等	70,558	62,600
賞与引当金	29,585	82,955
その他	251,447	216,299
流動負債合計	877,612	1,032,216
固定負債		
退職給付引当金	142,968	143,942
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	28,090	32,332
固定負債合計	185,618	190,835
負債合計	1,063,230	1,223,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,710,388	3,707,538
自己株式	△521,685	△521,685
株主資本合計	4,180,267	4,177,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,517	57,321
評価・換算差額等合計	41,517	57,321
純資産合計	4,221,784	4,234,738
負債純資産合計	5,285,015	5,457,790

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	1,201,858	1,317,429
売上原価	964,717	1,040,557
売上総利益	237,140	276,872
販売費及び一般管理費	142,064	156,182
営業利益	95,075	120,689
営業外収益		
受取利息	313	286
受取配当金	2,161	2,192
投資有価証券評価益	—	2,815
受取賃貸料	3,812	3,856
その他	412	2,267
営業外収益合計	6,699	11,417
営業外費用		
支払利息	538	400
売上割引	855	753
投資有価証券評価損	2,910	—
その他	201	135
営業外費用合計	4,506	1,288
経常利益	97,268	130,818
特別損失		
固定資産除却損	0	3,301
投資有価証券評価損	2,649	—
特別損失合計	2,649	3,301
税引前四半期純利益	94,619	127,517
法人税、住民税及び事業税	46,317	57,212
法人税等調整額	△13,919	△17,160
法人税等合計	32,397	40,051
四半期純利益	62,221	87,465

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,229,548	87,541	1,317,090	339	1,317,429	—	1,317,429
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,229,548	87,541	1,317,090	339	1,317,429	—	1,317,429
セグメント利益 又は損失(△)	179,317	8,753	188,071	△ 559	187,512	△66,822	120,689

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上